

平成30年度 e・アンケートモニター  
第1回アンケート No.1 調査結果  
テーマ「地球温暖化問題について」

I 調査の概要

1 調査の目的

二酸化炭素等の温室効果ガス排出量増加による地球温暖化問題は、私たち人間の活動が主な要因である可能性が極めて高いといわれており、県民、事業者、行政がそれぞれ連携して対策を進める必要があります。

また、山口県全体の二酸化炭素排出量は、近年、減少傾向にあるものの、家庭からの排出量は増加しており、家庭における一層の削減の取組が重要です。

このアンケートは、今後、山口県において、地球温暖化対策の取組を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

平成 30 年 7 月 30 日(月)～8 月 13 日(月)

3 調査対象

平成 30 年度 e・アンケートモニター 95 人

4 回答状況

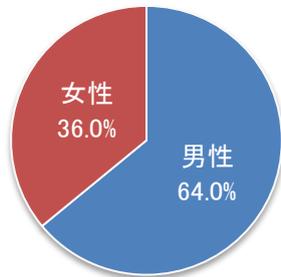
回答者 75 人(回答率 78.9%)

5 調査担当課

山口県環境生活部環境政策課

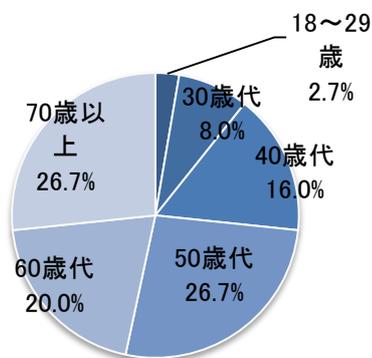
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	48	64.0
女性	27	36.0
計	75	100.0

■年代別



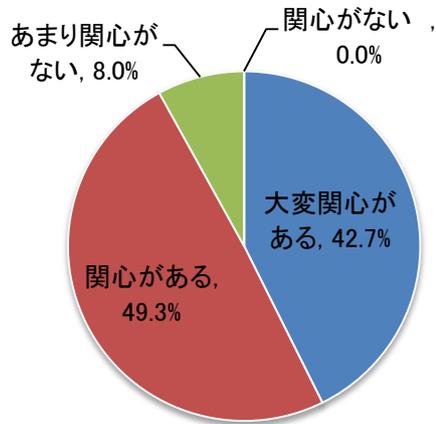
区分	人数	%
18～29 歳	2	2.7
30 歳代	6	8.0
40 歳代	12	16.0
50 歳代	20	26.7
60 歳代	15	20.0
70 歳以上	20	26.7
計	75	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

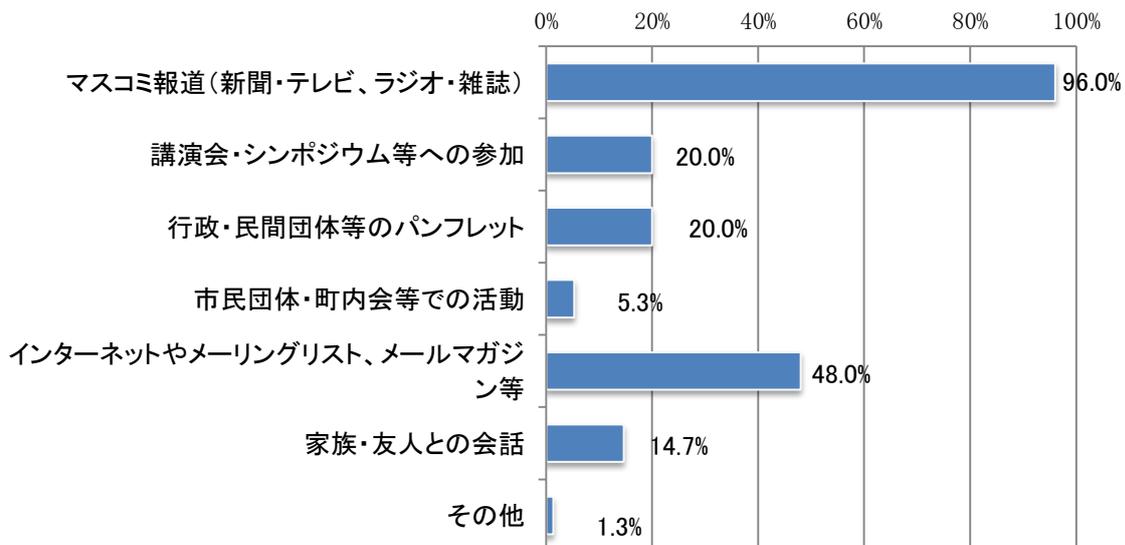
#### 1. 地球温暖化問題について

問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
大変関心がある	32	42.7
関心がある	37	49.3
あまり関心がない	6	8.0
関心がない	0	0.0
計	75	100.0

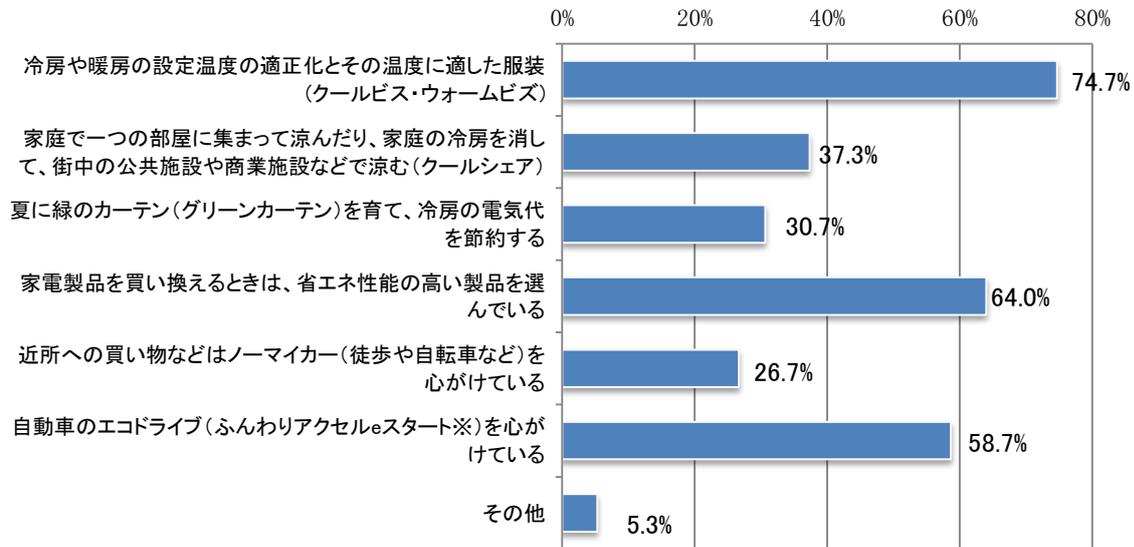
問2 あなたは、地球温暖化問題など環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
マスコミ報道(新聞・テレビ、ラジオ・雑誌)	72	96.0
講演会・シンポジウム等への参加	15	20.0
行政・民間団体等のパンフレット	15	20.0
市民団体・町内会等での活動	4	5.3
インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等	36	48.0
家族・友人との会話	11	14.7
その他	1	1.3

(複数回答)

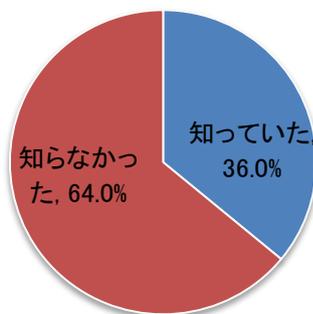
問3 あなたは、日常生活で、地球温暖化防止のためにどのような取り組みを行っていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
冷房や暖房の設定温度の適正化とその温度に適した服装(クールビズ・ウォームビズ)	56	74.7
家庭で一つの部屋に集まって涼んだり、家庭の冷房を消して、街中の公共施設や商業施設などで涼む(クールシェア)	28	37.3
夏に緑のカーテン(グリーンカーテン)を育て、冷房の電気代を節約する	23	30.7
家電製品を買い換えるときは、省エネ性能の高い製品を選んでいる	48	64.0
近所への買い物などはノーマイカー(徒歩や自転車など)を心がけている	20	26.7
自動車のエコドライブ(ふんわりアクセル e スタート※)を心がけている	44	58.7
その他	4	5.3

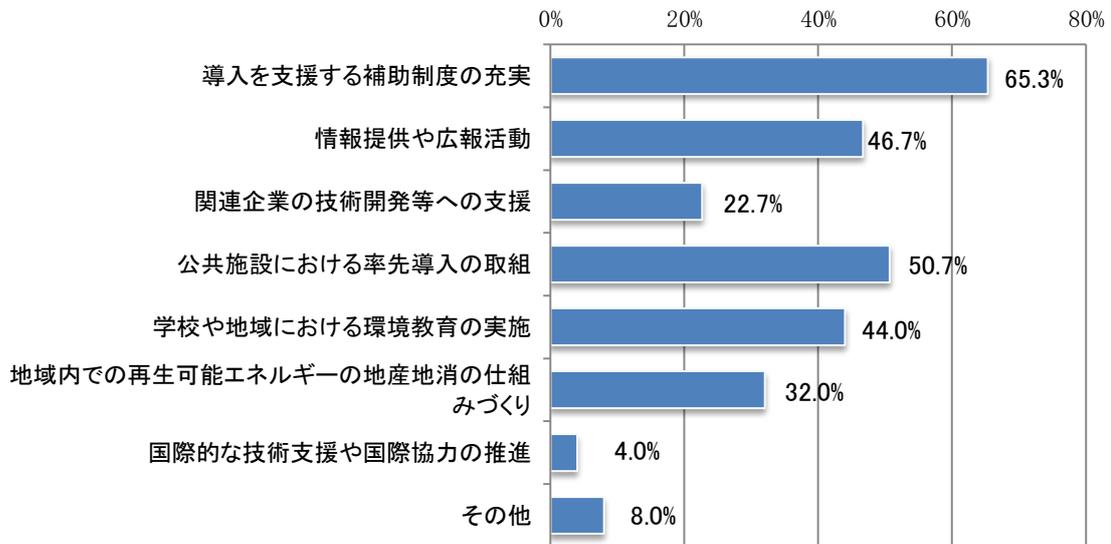
(複数回答)

問4 県では、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に地球温暖化防止のための取組を進めていますが、あなたは、「ぶちエコやまぐち」という言葉を知っていましたか。



選択肢	人数	%
知っていた	27	36.0
知らなかった	48	64.0
計	75	100.0

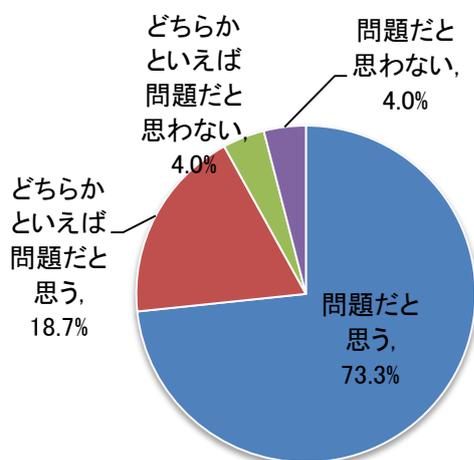
問5 再生可能エネルギー設備(太陽光発電など)、省エネルギー機器(エネファーム)や蓄エネルギー(家庭用蓄電池)の導入促進を進めています。今後、行政が取り組むべきものは何だと思えますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
導入を支援する補助制度の充実	49	65.3
情報提供や広報活動	35	46.7
関連企業の技術開発等への支援	17	22.7
公共施設における率先導入の取組	38	50.7
学校や地域における環境教育の実施	33	44.0
地域内での再生可能エネルギーの地産地消の仕組みづくり	24	32.0
国際的な技術支援や国際協力の推進	3	4.0
その他	6	8.0

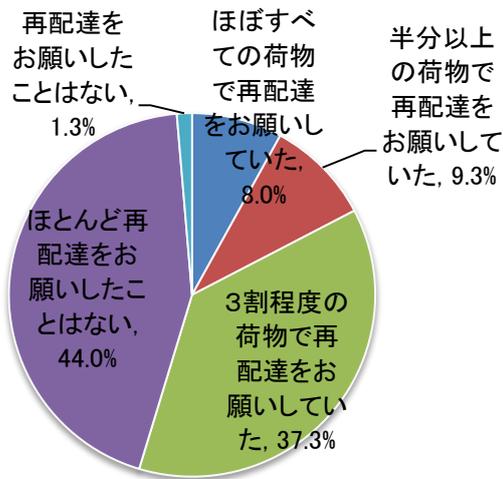
(複数回答)

問6 国の調査によると宅配便の2割が、配達先が不在のため再配達になっています。あなたは、このことについてどう思いますか。



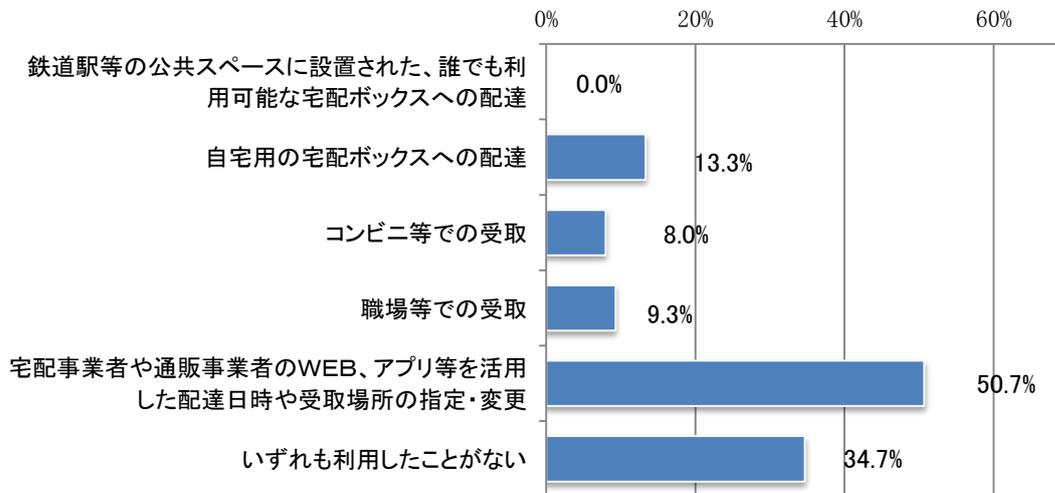
選択肢	人数	%
問題だと思う	55	73.3
どちらかといえば問題だと思う	14	18.7
どちらかといえば問題だと思わない	3	4.0
問題だと思わない	3	4.0
計	75	100.0

問7 あなたは、最近1年間で受け取った宅配便の荷物のうち、どのくらいの割合で宅配便の再配達をお願いしていましたか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
ほぼすべての荷物で再配達をお願いしていた	6	8.0
半分以上の荷物で再配達をお願いしていた	7	9.3
3割程度の荷物で再配達をお願いしていた	28	37.3
ほとんど再配達をお願いしたことはない	33	44.0
再配達をお願いしたことはない	1	1.3
宅配便の荷物を受け取っていない	0	0.0
計	75	100.0

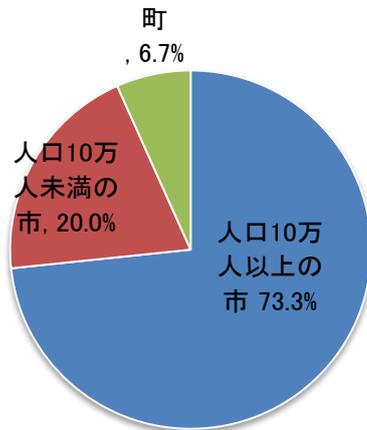
問8 あなたは、宅配便の荷物を受け取るために次の方法を利用したことがありますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
鉄道駅等の公共スペースに設置された、誰でも利用可能な宅配ボックスへの配達	0	0.0
自宅用の宅配ボックスへの配達	10	13.3
コンビニ等での受取	6	8.0
職場等での受取	7	9.3
宅配事業者や通販事業者のWEB、アプリ等を活用した配達日時や受取場所の指定・変更	38	50.7
いずれも利用したことがない	26	34.7

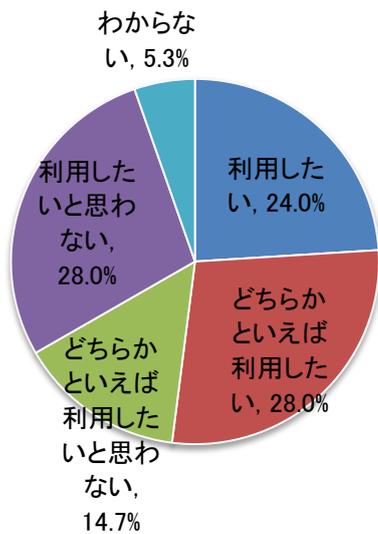
(複数回答)

問9 あなたのお住いの地域はどちらですか。



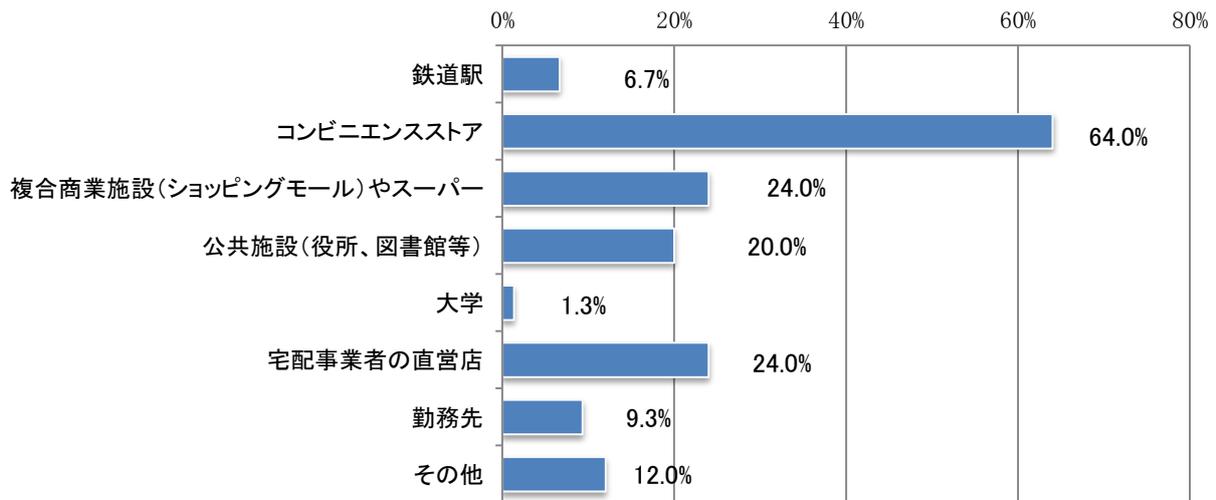
選択肢	人数	%
人口10万人以上の市 (下関市、宇部市、山口市、防府市、岩国市、周南市)	55	73.3
人口10万人未満の市 (萩市、下松市、光市、長門市、柳井市、美祢市、山陽小野田市)	15	20.0
町(周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町)	5	6.7
計	75	100.0

問10 あなたのお住いの近所や職場周辺等、利用できる範囲内に「宅配ボックス」が設置された場合、利用したいと思いますか。



選択肢	人数	%
利用したい	18	24.0
どちらかといえば利用したい	21	28.0
どちらかといえば利用したいと思わない	11	14.7
利用したいと思わない	21	28.0
わからない	4	5.3
計	75	100.0

問 1 1 あなたのお住いの近所や職場周辺等、利用できる範囲内に「宅配ボックス」が、どこに設置された場合、利用したいと思いますか。(2つまで)



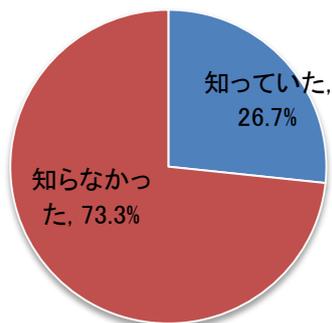
選択肢	人数	%
鉄道駅	5	6.7
コンビニエンスストア	48	64.0
複合商業施設(ショッピングモール)やスーパー	18	24.0
公共施設(役所、図書館等)	15	20.0
大学	1	1.3
宅配事業者の直営店	18	24.0
勤務先	7	9.3
その他	9	12.0

(複数回答)

問 1 2 地球温暖化による気候変動(猛暑や局所的な大雨などの極端な気象現象の増加など)の影響による被害を回避・軽減する対策のことを「適応策」と言いますが、あなたは、「適応策」という言葉を知っていましたか。

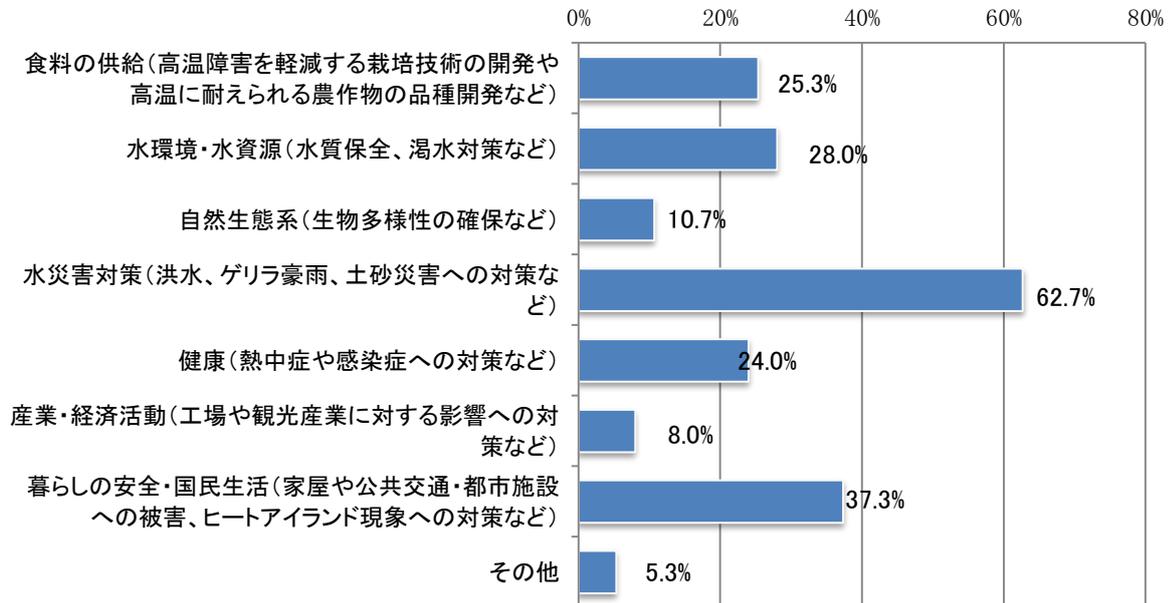
【適応策の例】

- ・ 農作物栽培の適地が移動することに対する農作物の転換
- ・ 局地的豪雨の増加などによる土砂災害や洪水などの災害予防
- ・ 猛暑日の増加などに対する熱中症の予防 など



選択肢	人数	%
知っていた	20	26.7
知らなかった	55	73.3
計	75	100.0

**問 1 0** 地球温暖化による気候変動の影響に対処するために、県が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。(2つまで)



選択肢	人数	%
食料の供給(高温障害を軽減する栽培技術の開発や高温に耐えられる農作物の品種開発など)	19	25.3
水環境・水資源(水質保全、渇水対策など)	21	28.0
自然生態系(生物多様性の確保など)	8	10.7
水災害対策(洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など)	47	62.7
健康(熱中症や感染症への対策など)	18	24.0
産業・経済活動(工場や観光産業に対する影響への対策など)	6	8.0
暮らしの安全・国民生活(家屋や公共交通・都市施設への被害、ヒートアイランド現象への対策など)	28	37.3
その他	4	5.3

**問 1 1** 今後、県が地球温暖化対策を進めるうえで、ご意見・ご要望ありましたら自由にご記入ください。(全角200字以内)

省略